



教授

【専門領域】

西澤 達夫

にしざわ たつお

情報工学

(支援技術研究、福祉機器・支援システム開発)

理学療法学科

研究・実務の業績

1. 西澤達夫, 長坂大介, 児玉大, 宮岡聖次, 橋本昌巳, 伊東一典: 直観的操作を実現する触覚を用いた視覚障害者向けインタフェース, ヒューマンインタフェース学会研究会報告集, Vol. 11 No. 6 p.31-36, 2009年12月
2. T.Nishizawa, D.Nagasaka, H.Kodama, M.Hashimoto, K. Itoh and S.Miyaoka: Realization of Direct Manipulation for Visually Impaired on Touch Panel Interface. Computers Helping People with Special Needs, Part II LNCS6180 p.377-384, 2010年7月
3. 西澤達夫, 井上裕翔, 大谷真, 橋本昌巳, 香山瑞恵, 伊東一典: 聴覚ディスプレイによる視覚障害者のタッチパネル操作性改善, 電子情報通信学会技術研究報告Vol.112, No.266 p.55-60, 2012年12月
4. 西澤達夫, 宮岡聖次, 橋本昌巳, 伊東一典: 超音波リニアアクチュエータを用いたDAISY図書見出し検索用入出力兼用スライダの構築と評価, 電子情報通信学会和文論文誌 D VOL. J97-D N03.p.646-655, 2014年3月

学生へのメッセージ

企業における技術部門で、製品開発に携わってきた経験から医療分野にも通じると思える2つのことを皆さんと共有したいと思っています。

一つ目：3現主義（現場、現実、現物）を大事にしよう

全てのことは現場で起こっています。実習はもちろん座学でも学んだことを実際に試してみることをお勧めします。実践することで学んだ知識が体系化されて、経験値となって理学療法士、作業療法士としての皆さんの活躍に繋がっていくはずですよ。

二つ目：引き出しを多くもとう

課題の解決には、多面的なアプローチが必要です。視点を変えると今まで分からなかったことが見えてくる場合があります。

私は展開分野を担当していて、講義の中心はICT（Information and Communication Technology）のリハビリテーションにおける利活用です。是非一緒に具体的な活用事例を考え、実践してその有効性を検証していきましょう。皆さんの引き出しが増えることに繋がっていくと思います。